

3.4.6 健康リスクの状況

健康リスク の状況

- 腹囲等リスクありの人のうち、服薬があり、腹囲等以外の複数リスクを抱えている人の割合は 47.1%である。
- 服薬者の割合は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病の順で高い。
- 特定健診対象者のうち、特定健診未受診かつ生活習慣病治療ありの人は 42.8%である。
- 高血圧症は受診者と治療者がほぼ同じとなるが、糖尿病の場合は、受診者と服薬者の数が異なり、受診はしているが服薬していない人が一定数いる。

▶ 腹囲等リスク別の健診項目ごとのリスク保有状況

腹囲等のリスクがある人（36.0%）、腹囲等のリスクがない人（64.0%）のそれぞれで、服薬有無別でその他のリスクの保有状況を表 3-16に示します。

表 3-16 リスク保有状況（平成28年度）※KDBデータ

（単位：％）

		腹囲等リスクあり 36.0		腹囲等リスクなし 64.0	
服薬あり	単一リスクあり	11.9	59.0	14.4	38.2
	血圧のみ	2.5		5.1	
	血糖のみ	8.8		8.6	
	脂質のみ	0.6		0.7	
	複数リスクあり	47.1		23.8	
服薬なし	リスク無	0.0	41.0	30.7	61.8
	単一リスクあり	25.6		22.2	
	腹囲等のみ	9.5		0.0	
	血圧のみ	3.9		3.0	
	血糖のみ	8.8		13.9	
	脂質のみ	3.4		5.3	
	複数リスクあり	15.4		8.9	

※腹囲等リスクありの要件

	健診検査項目	単位	要件
腹囲等リスク	BMI		25以上
	腹囲	cm	男性85以上 女性90以上

▶ 高血圧症の重症度別服薬有無別状況

高血圧症の重症度別、服薬有無別状況を図 3-37に示します。特定健康診査受診者のうち、健診結果が高血圧重症度Ⅱ度もしくはⅢ度に分類された人について、レセプト情報から判断した服薬状況を示したものです。



図 3-37 高血圧症の重症度別服薬有無別状況（健診結果：平成28年度速報、服薬有無：平成28年度）※KDBデータ

Ⅱ度
収縮期血圧 160mmHg-179mmHg または 拡張期血圧 100mmHg-109mmHg
(Ⅲ度該当者を除く)

Ⅲ度
収縮期血圧 ≥ 180 mmHg または 拡張期血圧 ≥ 110 mmHg

▶ 高血圧症の重症度別受診有無別状況

高血圧症の重症度別、医療機関への受診有無の状況を図 3-38に示します。特定健康診査受診者のうち、健診結果が高血圧重症度Ⅱ度もしくはⅢ度に分類された人について、高血圧症による医療機関受診状況を示したものです。

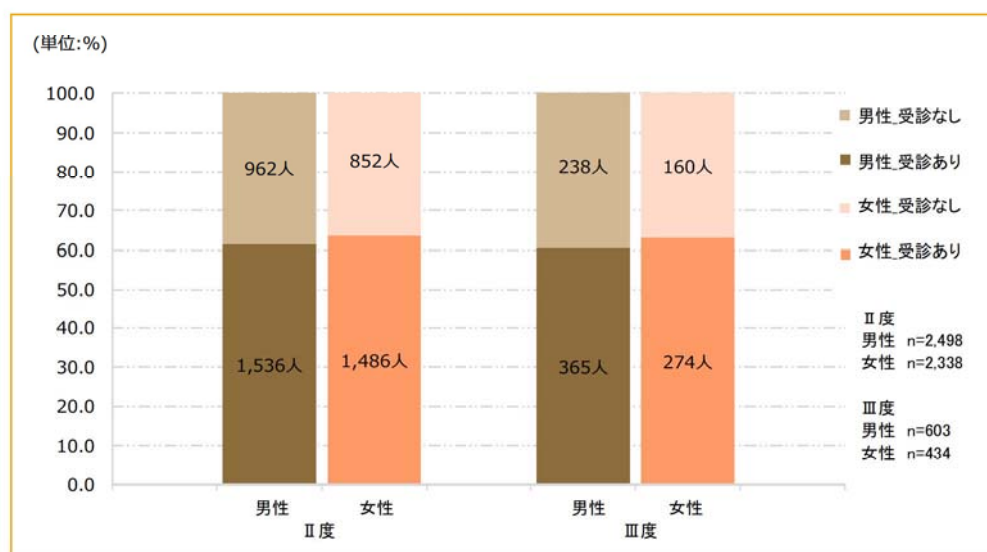


図 3-38 高血圧症の重症度別受診有無別状況（健診結果：平成28年度速報、受診有無：平成28年度）

※KDBデータ

▶ 糖尿病の重症度別服薬有無別状況

糖尿病の重症度別、服薬有無別状況を図 3-39に示します。特定健康診査受診者のうち、健診結果が糖尿病重症度Ⅱ度・Ⅲ度・Ⅳ度に分類された人について、レセプト情報から判断した服薬状況を示したものです。

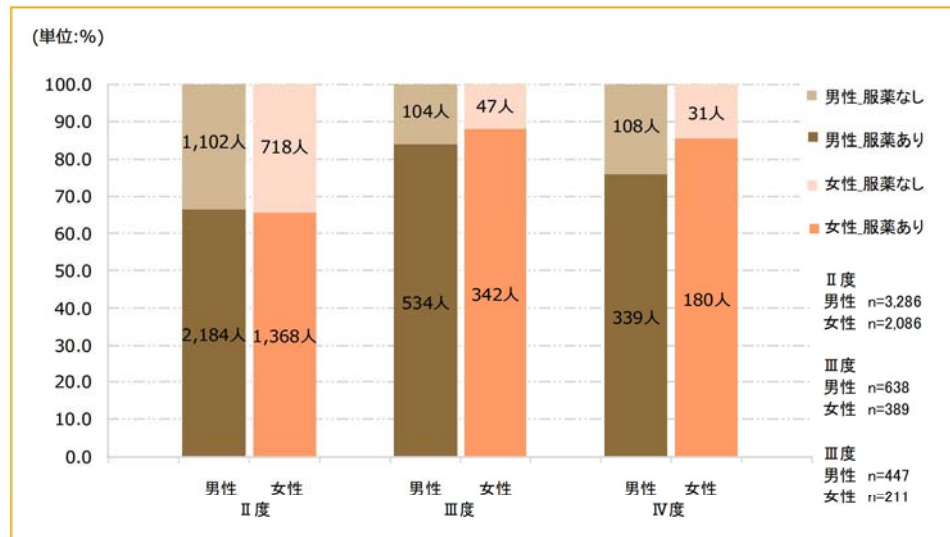


図 3-39 糖尿病の重症度別服薬状況（健診結果：平成28年度速報、服薬有無：平成28年度）※KDBデータ

Ⅱ度
空腹時血糖 $\geq 126\text{mg/dl}$ または $\text{HbA1c} \geq 7.0\%$

Ⅲ度
空腹時血糖 $\geq 126\text{mg/dl}$ かつ $\text{HbA1c} \geq 7.5\%$

Ⅳ度
空腹時血糖 $\geq 126\text{mg/dl}$ かつ $\text{HbA1c} \geq 8.5\%$

▶ 糖尿病の重症度別受診有無別状況

糖尿病の重症度別、医療機関への受診有無の状況を図 3-40に示します。特定健康診査受診者のうち、糖尿病重症度がⅡ度・Ⅲ度・Ⅳ度に分類された人について、糖尿病による医療機関受診状況を示したものです。

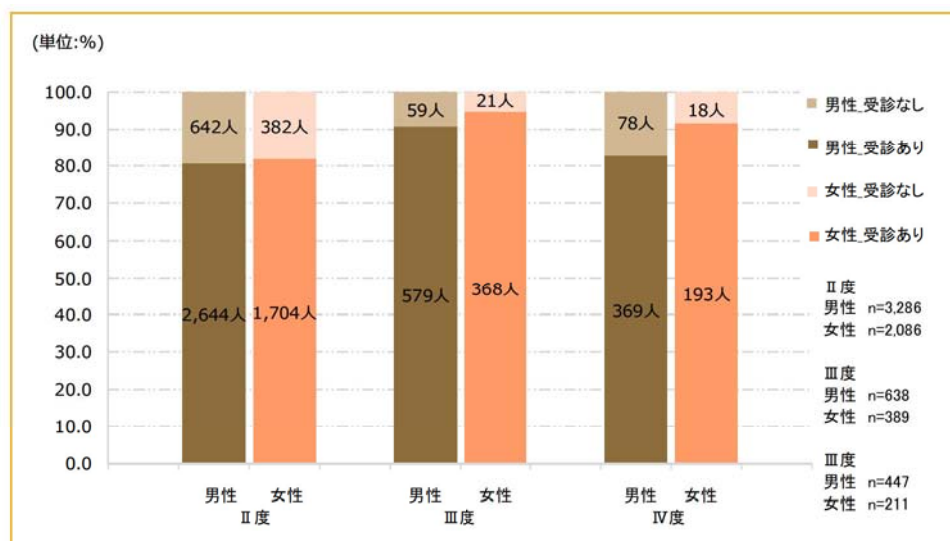


図 3-40 糖尿病の重症度別受診有無別状況（健診結果：平成28年度速報、受診有無：平成28年度）

※KDBデータ

▶ 年齢階層別の服薬者の割合

「特定健康診査質問票」における服薬者の割合を図 3-41に示します。

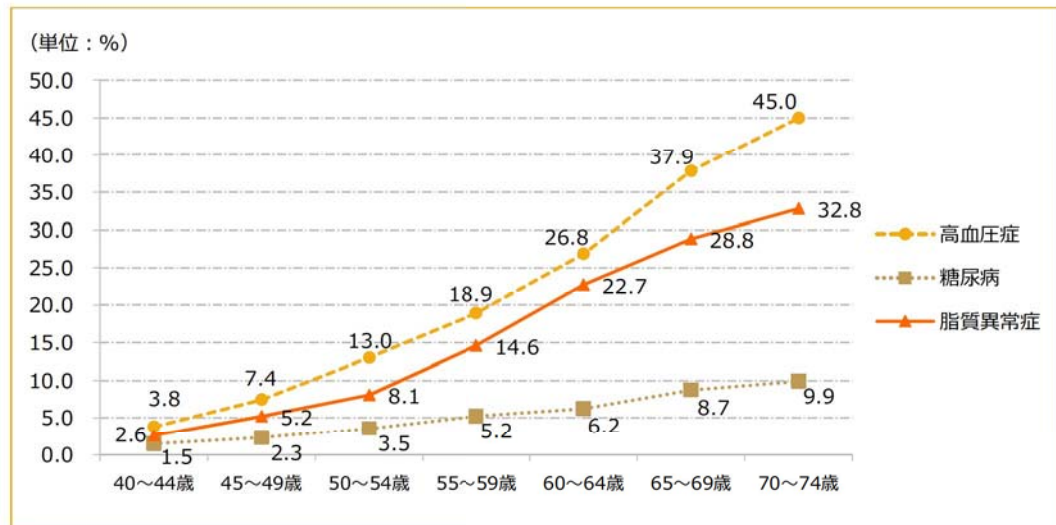


図 3-41 服薬率（年齢階層別）（平成28年度）※名古屋市統計データ

▶ 健診受診・未受診者における生活習慣病治療有無の状況

特定健康診査受診・未受診者別の生活習慣病治療有無の状況を図 3-42に示します。

特定健康診査対象者のうち、健診未受診者は230,879人（69.7%）、健診受診者は100,185人（30.3%）です。

また、特定健康診査未受診かつ生活習慣病治療ありの人は42.8%、特定健康診査未受診かつ生活習慣病治療なしの人は26.9%です。

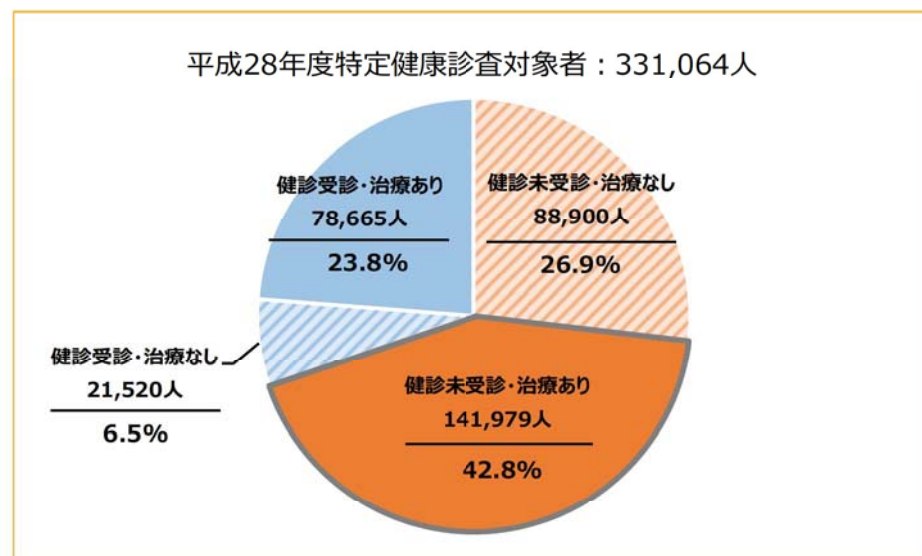


図 3-42 健診受診・未受診者における生活習慣病治療有無の状況（平成28年度速報）※KDBデータ

（図 3-25「年齢階層別特定健康診査実施率（平成28年度）」での名古屋市統計データとは数値が異なります。）

3.4.7 質問調査票の状況

質問調査票 の状況

- 1回30分以上の運動習慣がある人の割合は、男性で45.1%、女性で40.3%である。
- 生活習慣に改善意欲がある人の割合は、男性で27.0%、女性で29.3%である。

▶ 運動習慣

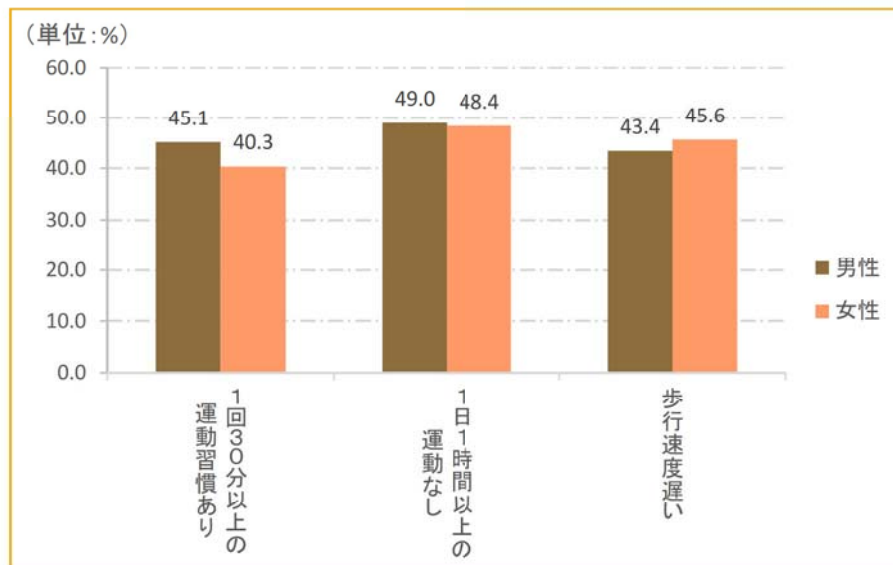


図 3-43 運動習慣の回答状況（平成28年度）※名古屋市統計データ

▶ 生活習慣改善意欲

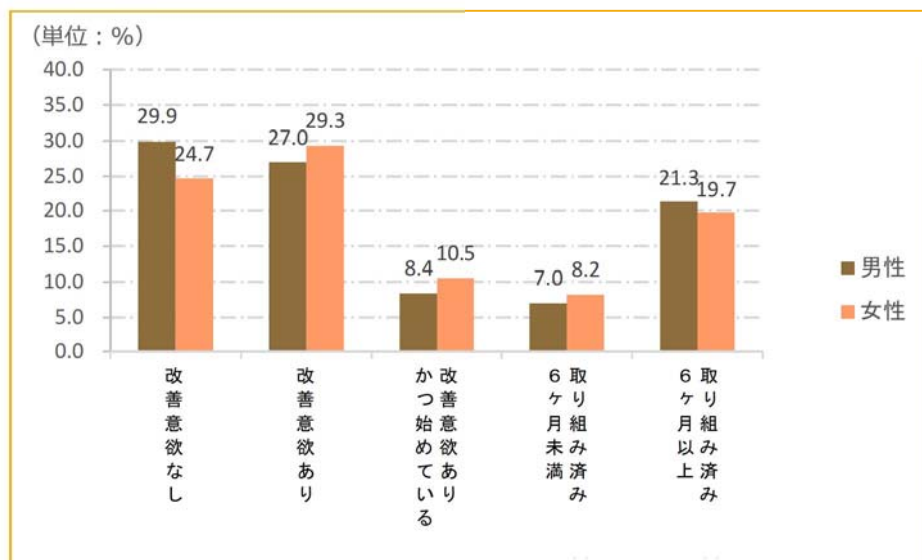


図 3-44 生活習慣改善意欲の回答状況（平成28年度）※名古屋市統計データ

3.5 被保険者への健康に関するアンケート¹⁷結果

調査概要		
目的	被保険者の健康意識や日常生活における健康関連行動の実態を把握し、健康の保持・増進の支援の施策やデータヘルス計画策定に効果的に活用する。	
対象	平成29年5月1日現在加入している20～74歳の被保険者 6,000名（無作為抽出）	
時期	平成29年6月5日～ 6月30日	
回答状況	回答数 2,253人（回答率 37.5%）	
調査項目	情報	質問項目
	属性	性別・年齢・居住区・同居家族・職業
	健康状態・健康意識	主観的健康感・治療状況・生活習慣病の理解・メタボリックシンドロームの理解
	健康関連行動	日頃の健康行動の実行・健康関連行動の実践ステージ・診断後の行動・適正受診や重症化予防の行動・生活習慣の改善に必要な健康情報
	保健事業の理解・必要な情報	特定保健指導の理解・生活習慣病予防のための必要な取り組み・医療費通知の対応・後発医薬品の理解
	受診行動・意思	過去1年間の健康診査受診の有無・健康診査受診の理由・健康診査を受診してよかったこと・今後の健康診査受診の意思

※被保険者の健康に関するアンケートは、平成27年度（平成27年5月20日～6月1日）に引き続き、実施いたしました。

27年度の被保険者の健康に関するアンケート実施状況	
対象	平成27年5月1日現在加入している20～74歳の被保険者5,000名（無作為抽出）
回答状況	回答数 1,929人（回答率 38.6%）

¹⁷ 被保険者の健康に関するアンケート：P77 資料「被保険者への健康に関するアンケート結果」参照

■ 3.5.1 主な調査結果

1 属性

同居家族で最も多いのは、「配偶者(又はパートナー)」が66.9%(1,507人)、「子ども」が33.6%、「自分の親」と同居している人が16.2%、「ひとり暮らし」が15.1%となっています。また職業は、「無職」が40.7%で最も高く、「パート・アルバイト」が20.4%、「家事専業」が15.5%となっています。

2 健康状態

健康の程度(主観的健康感)を聞く質問では、「たいへんよい」、「よい」の回答が全体の72.3%を占め、健康なごやプラン21の市民調査(69.4%)とほぼ同じ率です。「あまりよくない」、「よくない」と回答した人は26.5%となっています。

治療している病気は、「高血圧症」が27.7%で、「整形外科疾患(腰痛、骨折等)(12.7%)」、「脂質異常症(高脂血症)(11.4%)」、「糖尿病(9.9%)」の順に多い回答となっています。また、「特にない」が30.8%となっています。

3 健康関連行動

日頃の生活で気をつけて実行している健康関連行動については、「毎日、朝食をとるようにしている」が73.9%で、「過労に注意し、睡眠、休養をとる(54.4%)」「体重を測定している(52.3%)」「健診受診(50.9%)」の順に実行していることが多い回答となっています。一方で、「特に行っていることはない」人が2.8%となっています。

運動習慣については、「運動やスポーツをしている」が33.5%、「近いところは歩くようにしている」が32.6%となっています。

健康関連行動の実践ステージを示す生活習慣の改善への思いについては、「既に改善に取り組んでいる(6ヶ月以上)」が33.2%、「概ね1ヶ月以内に改善するつもりであり、少しずつ始めている」が10.9%、「既に改善に取り組んでいる(6ヶ月未満)」が10.7%、「概ね6ヶ月以内に改善するつもり」が10.3%となっています。一方で、「改善するつもりがない(必要性を感じない)」が26.8%となっています。

4 受診行動

適正な受診や病気の重症化予防のために実行していることについては、「自覚症状が出たら早めに受診する」が59.9%、「かかりつけ医をもっている」が58.5%、次いで「治療が必要な場合、放置せず治療している」が48.6%となっています。また、「特にない」が7.2%となっています。

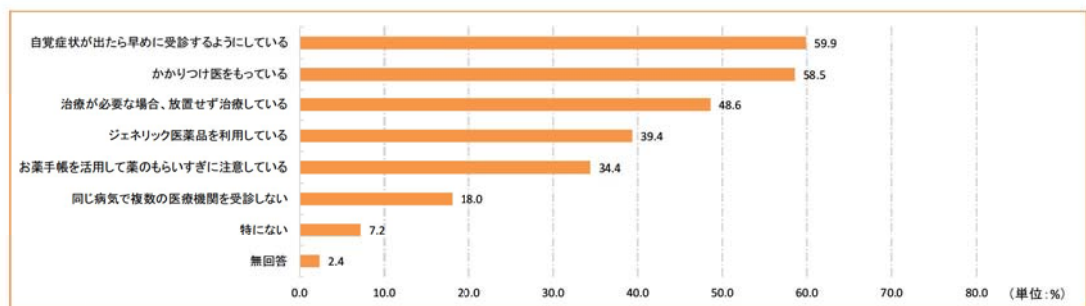


図 3-45 適正受診や重症化予防の行動（複数回答可）

5 健康づくり、生活習慣病予防のための取組み

健康づくりや生活習慣病を予防するにあたり、どのような取り組みがあれば、継続的に実施できるかについて、「気軽にできる健康の相談」が31.7%、「健康や病気の予防についての情報提供」が26.2%、「身近な会場での運動機会」が21.5%となっています。

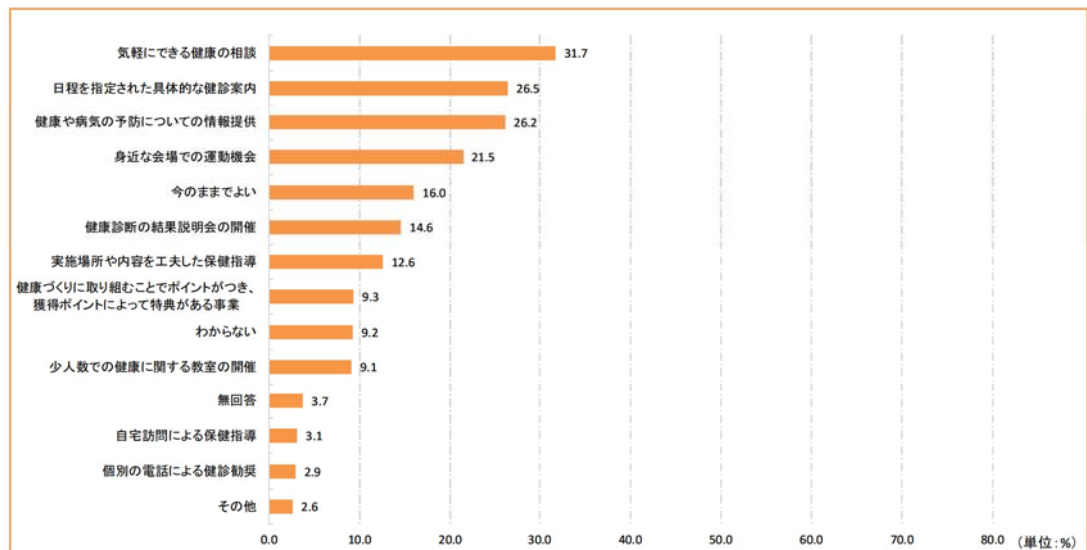


図 3-46 健康づくり、生活習慣病予防のための取組み（複数回答可）

健康づくりや生活習慣を改善するうえでの情報をどこから得ているかについて、「テレビ・ラジオ」が74.0%、「新聞・雑誌・一般書」が54.2%、「医師、薬剤師、看護師、栄養士などの医療関係者」が35.7%となっています。

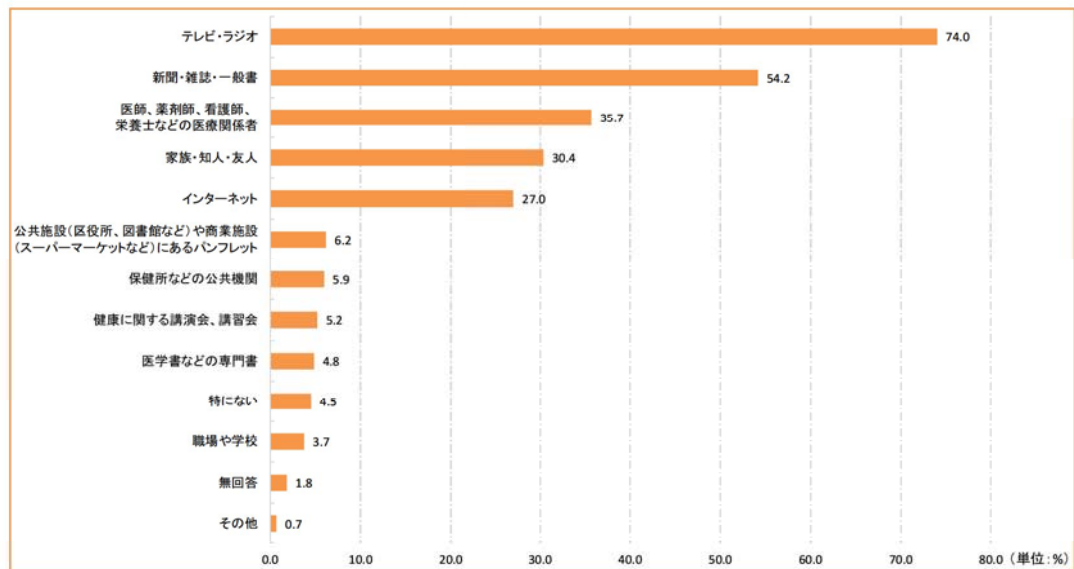


図 3-47 健康づくり、生活習慣病改善のための情報収集先（複数回答可）

6 健康寿命

目指す健康寿命について、「80～84歳」が38.8%、「85～89歳」が21.8%、「90～94歳」が10.0%となっています。回答全体の平均は、82.0歳でした。

■ 3.5.2 健康診査受診者・未受診者の特徴について

1 属性

▶ 特定健康診査等を受けた人（57.3%、1,292人）

同居家族で最も多いのは、「配偶者(又はパートナー)」が71.1%（918人）、「子ども」が32.5%、「ひとり暮らし」が13.7%、「自分の親」と同居している人が12.7%となっています。また職業は、「無職」が39.2%で最も高く、「パート・アルバイト」が23.2%、「家事専業」が15.2%となっています。

▶ 受けていない人（37.8%、852人）

同居家族で最も多いのは、「配偶者(又はパートナー)」が61.2%（521人）、「子ども」が35.7%、「自分の親」と同居している人が22.4%、「ひとり暮らし」が17.1%となっています。また職業は、「無職」が42.0%で最も高く、「パート・アルバイト」が16.3%、「家事専業」が15.8%となっています。

2 健診を受診した理由

健診を受診した理由について、「自分の健康状態を知りたい」が72.8%、「受診券が自宅に届いた」が43.2%、「自己負担金が無料」が33.6%、「早期発見に努め治療費がかからないように」が28.2%となっています。

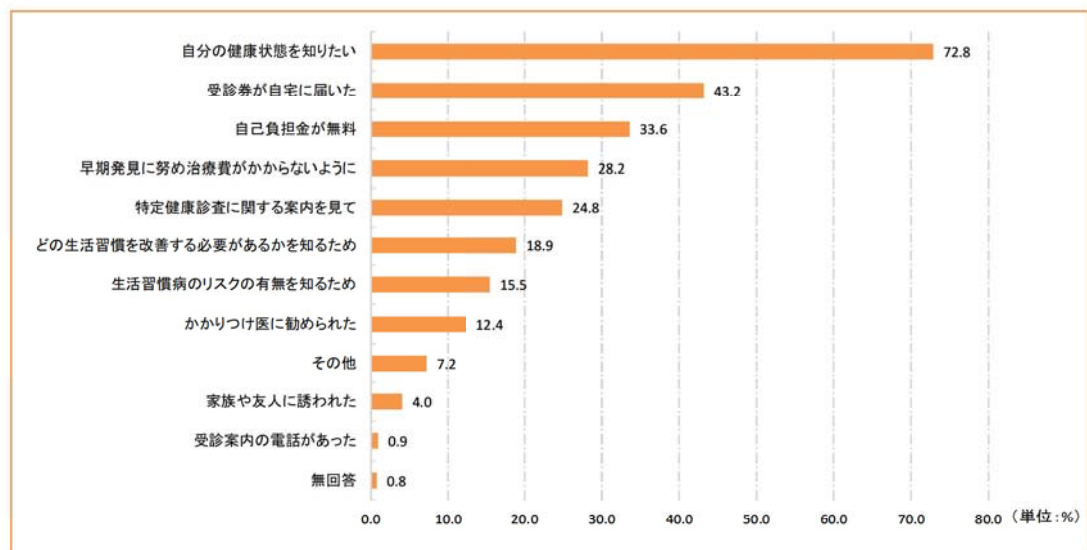


図 3-48 健診を受診した理由（複数回答可）

3 健診を受診しない理由

健診を受診しない理由について、「通院中（治療中）である」が35.8%、「受診するのが面倒である」が24.8%、「受診する機会がない」が19.4%となっています。

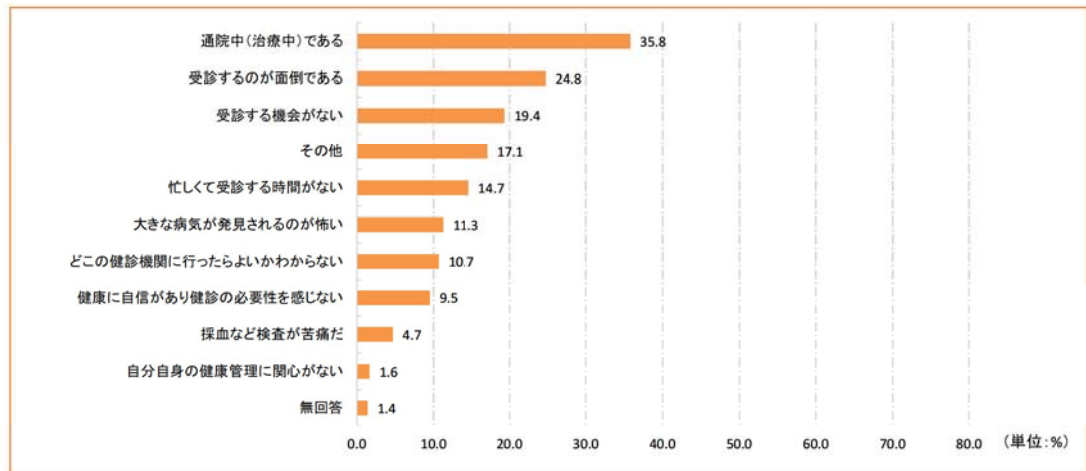


図 3-49 健診を受診しない理由（複数回答可）

4 受診行動

適正な受診や病気の重症化予防のために実行していることについては、特定健康診査を受けていない人は、受けている人と比較し、「自覚症状が出たら早めに受診するようにしている」、「かかりつけ医をもっている」、「治療が必要な場合、放置せず治療している」割合が低くなっています。一方、「特にない」と回答した割合が高くなっています。

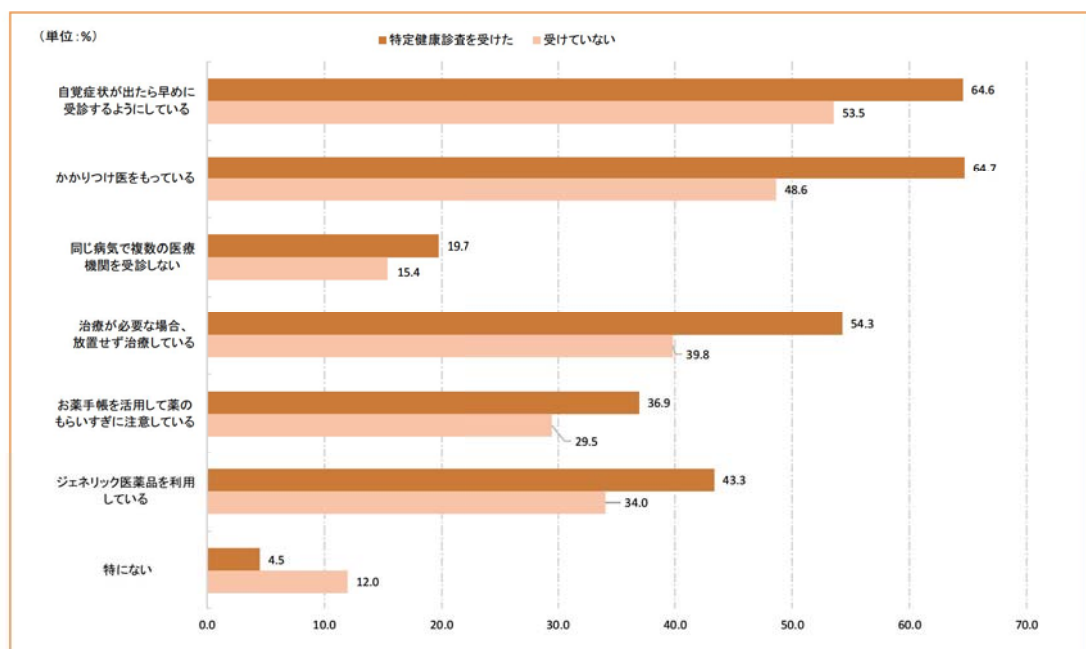


図 3-50 適正受診や重症化予防の行動 特定健康診査受診・未受診別（複数回答可）

5 受診指示に対する行動

▶ 特定健康診査等を受けた人（57.3%、1,292人）

健康診査の結果で医療機関への受診の指示が出た場合について、「1か月以内に受診する」と回答した人は79.2%（1,023人）、「2～3か月後に受診する」と回答した人は8.0%、「生活に支障が出てきたら受診する」、「受診しない」と回答した人は3.9%となっています。

▶ 受けていない人（37.8%、852人）

健康診査の結果で医療機関への受診の指示が出た場合について、「1か月以内に受診する」と回答した人は63.1%（538人）、「2～3か月後に受診する」と回答した人は10.2%、「生活に支障が出てきたら受診する」、「受診しない」と回答した人は11.7%となっています。

■ 3.5.3 健康関連行動別の特徴について

日頃の生活で気をつけて実行している健康関連行動のうち、20歳～44歳の回答が多いのは、「毎日、朝食をとるようにしている（51.4%）」「過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている（41.9%）」「体重を測っている（37.2%）」でした。

45歳～59歳の回答が多いのは、「毎日、朝食をとるようにしている（68.9%）」「過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている（50.2%）」「体重を測っている（45.7%）」でした。

60歳～74歳の回答が多いのは、「毎日、朝食をとるようにしている（78.2%）」「過労に注意し、睡眠、休養を十分とるよう心がけている（57.2%）」「年に1回は、健康診査を受けている（56.7%）」でした。

健康関連行動の実践ステージを示す生活習慣の改善への思いについて、20歳～44歳の回答が多いのは、「改善するつもりがない（必要性を感じない）（32.0%）」「概ね6か月以内に改善するつもり（20.6%）」でした。

45歳～59歳の回答が多いのは、「改善するつもりがない（必要性を感じない）（24.8%）」「既に改善に取り組んでいる（6か月以上）（23.8%）」でした。

60歳～74歳の回答が多いのは、「既に改善に取り組んでいる（6か月以上）（37.3%）」「改善するつもりがない（必要性を感じない）（26.5%）」でした。

3.5.4 平成27年度アンケート結果との比較

1 健康関連行動

日頃の生活で気をつけて実行している健康関連行動を、平成27年度アンケート結果と平成29年度アンケート結果で比較すると、上位4位の傾向は変わらず、上から順に「毎日、朝食をとるようにしている」「過労に注意し、睡眠、休養をとる」「体重を測っている」「年に1回は、健康診査をうけている」でした。

「毎日、朝食をとるようにしている」と回答した割合は、平成27年度の64.9%に対し、平成29年度は73.9%と、9.0%増加しています。また、「特に行っていない」が平成29年度は2.8%と、7.5%減少しています。

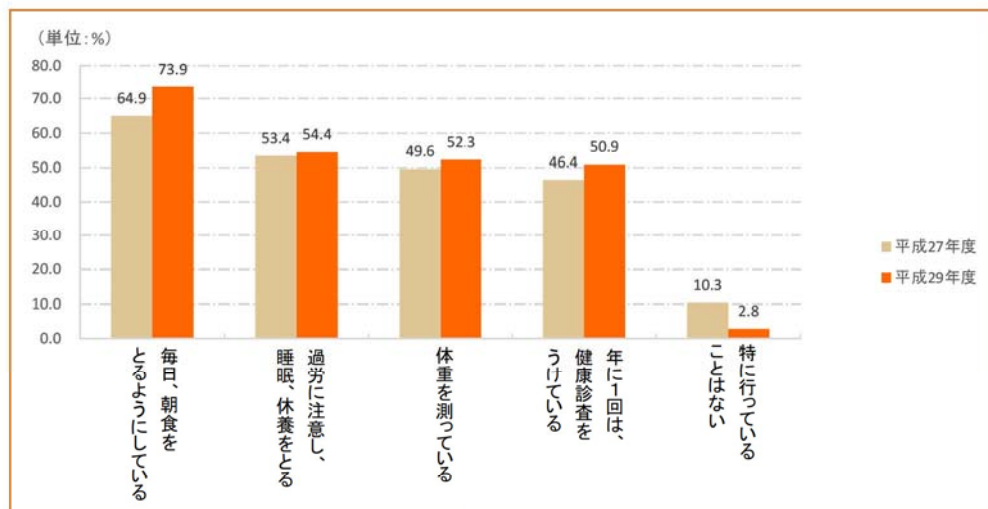


図 3-51 健康関連行動 平成27年度、平成29年度（複数回答可）

2 受診行動

適正な受診や病気の重症化予防のために実行していることについて、平成27年度アンケート結果と平成29年度アンケート結果で比較すると、「ジェネリック医薬品を利用している」「お薬手帳を活用して薬のもらいすぎに注意している」と回答した割合が増加しています。また、「特にない」が平成29年度は7.2%と、11.0%減少しています。

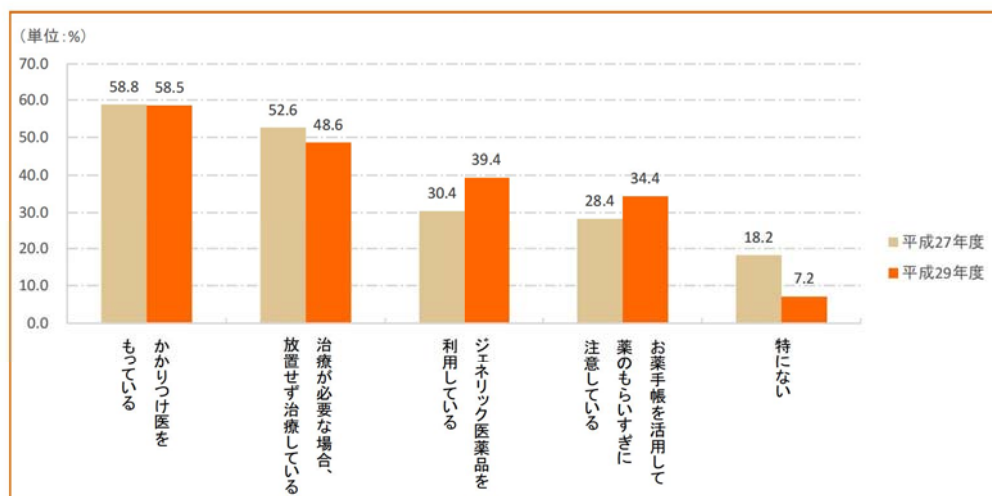


図 3-52 適正受診や重症化予防の行動 平成27年度、平成29年度（複数回答可）